

在宅医療

Q&A



脳梗塞の後遺症による障害や癌や難病などで、
医師に積極的な治療法がないと言われた時、
できるだけ住み慣れた家で過ごしたいと考えるのは、ごく自然なことです。
在宅医療は、そのような方々を支援させていただきます。

平成24年度 厚生労働省在宅医療連携拠点事業
一宮ハート・ギュツと・ネット

事務局よりご挨拶

このたび、平成24年度厚生労働省 在宅医療連携拠点事業（復興枠）に採択され、奈良県北和地区を中心とした、緩和ケアネットワークを構築することになりました。この事業の目的は奈良県に住むすべての人が、がんになった時に、病院・施設・自宅などのどの場所においても、安心して過ごせる社会を作っていくことです。今回、この事業では①緩和ケア教育②情報共有ツールの開発③普及啓発活動を3本の柱としております。

従来の緩和ケア教育は主に医療職に対して行われてきました。今回は福祉職、薬剤師向けの教育講座も視野に入れており、がん患者に関わるすべての職種の知識と技術の向上を図ろうと考えています。さらに、情報共有ツールの開発、市民への啓発を行うことにより、がん患者が安心して過ごせる社会の実現を図ろうと考えています。

今、日本では、年間約110万人が亡くなっており、そのうち、約34万人が、がんでなくなっています。これが18年後の2030年には年間死亡者数が約160万人という多死の時代を迎え、がんによる死亡者はさらに増加すると考えられています。そういった現状の中、今、まさになすべきことは質の高い緩和ケアネットワークの構築であると思います。奈良県はがん在宅死率日本一の県であり、日本で最も質の高い在宅医療を展開している県であります。多死の時代を迎えるにあたって、この国の在宅緩和ケアにおける地域連携ネットワークの未来を指し示すことができるのは私たち、奈良の連携チーム以外にはありえないと思います。奈良を一つのホスピスにしましょう。私たちが変われば、がん患者の暮らしの質が変わります。そして、地域が、奈良県が、この国が変わります。ぜひ、皆さんの方で、私たち奈良県の在宅緩和ケアの未来を、そして、この国の未来を開いていきましょう。よろしくお願いたします。

ホームホスピス ひばりクリニック 理事長 森井 正智

在宅医療拠点事業 事務局

医療法人ひばり

ホームホスピス ひばりクリニック

〒631-0061 奈良県奈良市三碓6-9-23

TEL: 0742-49-8700 FAX: 0742-51-8000

厚生労働省 平成24年度 在宅医療連携拠点事業

目的

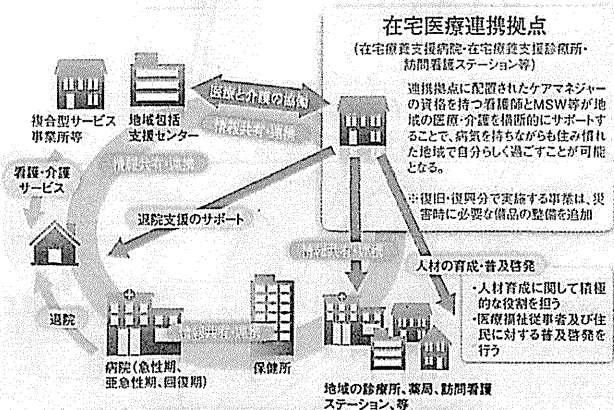
国民が住み慣れた地域で生活することを支えるためには、医療・介護にまたがる様々な支援を提供する必要がある。本事業は、在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャーなどの多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指すとともに、今後の在宅医療に関する政策立案や均てん化などに資することを目的とする。

事業内容

在宅医療を提供する機関等を連携拠点として、介護支援専門員の資格を持つ看護師等及び医療ソーシャルワーカーを配置し、以下に示す(1)~(5)の活動等を通して地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供するための体制を構築する。なお、病院・診療所については、自らも在宅医療を提供し、かつ他の医療機関（特に一人の医師が開業している診療所）が必ずしも対応しきれない医師不在時や夜間の診療を支援することが望ましい。

- ①地域の医療・介護関係者による協議の場を定期的開催し、在宅医療における連携上の課題の抽出及びその対応策の検討等を実施すること
- ②地域の医療・介護資源の機能等を把握し、地域包括支援センター等と連携しながら、医療・介護にまたがる様々な支援を包括的かつ継続的に提供しよう関係機関の調整を行うこと
- ③効率的で質の高い24時間対応の在宅医療提供体制を構築すると同時に、チーム医療や多職種協働のための情報共有について、ITや標準化されたツールの活用等により促進を図ること
- ④在宅医療に関する普及啓発活動を行うこと
- ⑤多職種協働による在宅チーム医療を担う人材育成事業」に都道府県リーダーまたは、地域リーダーとして参画すること

在宅医療連携拠点事業のイメージ



24時間連携体制、チーム医療提供

厚生労働省HPより抜粋

厚生労働省 平成24年度 在宅医療連携拠点事業

緩和ケア オールインワンシステムの構築



委託事業者

医療法人ひばり

ホームホスピス ひばりクリニック

よりよく生きる。

そのお気持ちと向き合いたいと思います。



厚生労働省委託 在宅医療連携拠点診療所

医療法人 徳島往診クリニック 附属

ハートホーム

在宅医療・在宅介護のなんでも相談所[無料]

パンフレット「おかえりなさい」紙フォルダ表紙 <2校>

●紙フォルダ

size: W220×H170 (2つ折・片側ポケット付)

color: 4C / 4C

オモテ面

<表4>

220mm

4.5mm

<表1>

220mm

170mm



発行元

ゆづの森 [看取りのパンフレット製作委員会]

〒791-8036 愛媛県松山市別府町444-1 | TEL) 089-911-6333 | FAX) 089-911-6334

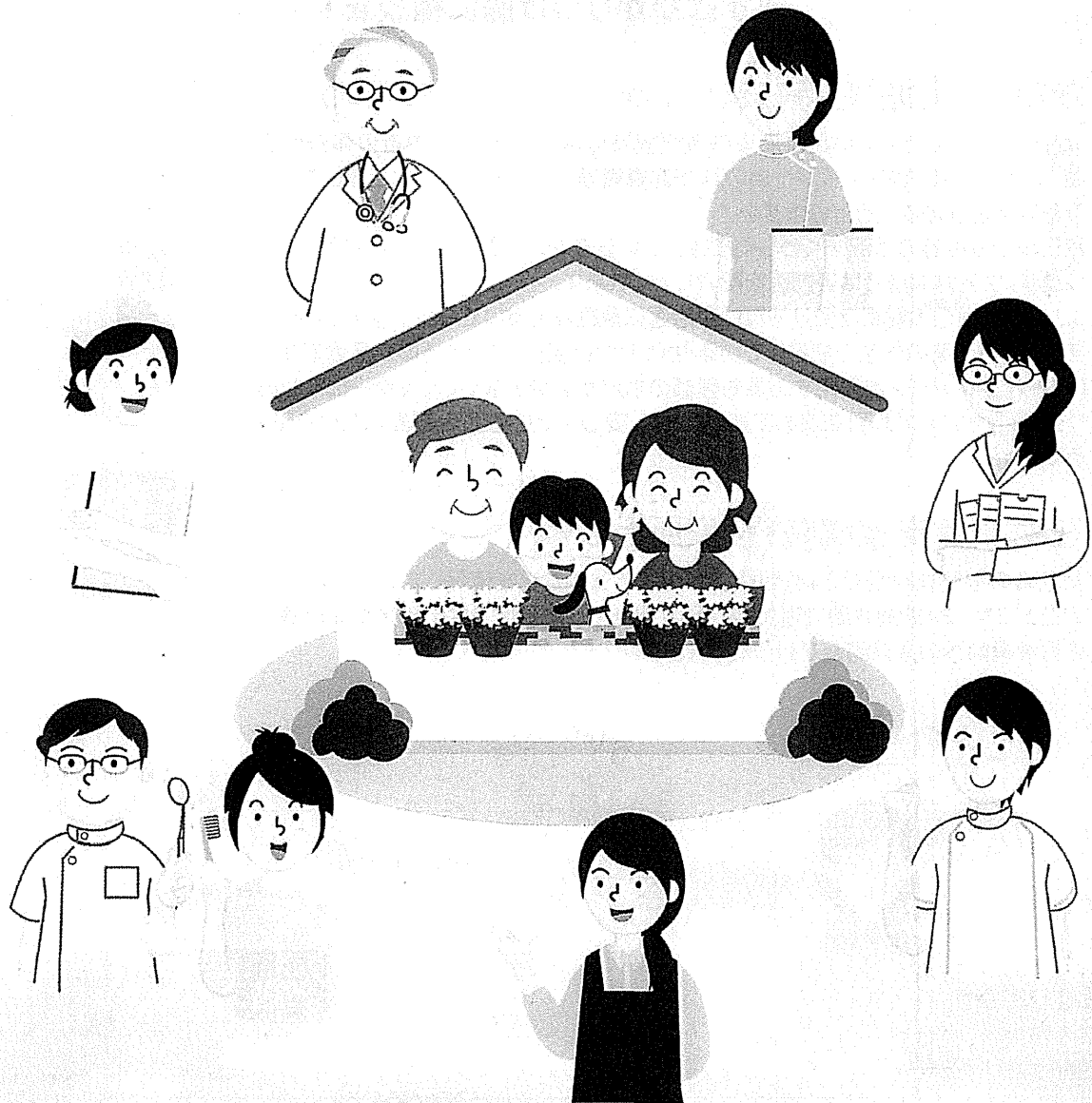
このパンフレットは、平成24年度厚生労働省在宅医療連携推進事業の一環として製作しました。

人生の旅立ち
は、家族の
声に囲まれて

家で
看取る
と云うこと

内村川上
2017.09

ご存知ですか？ 「在宅医療」 について



TRITRUS

医療法人ナカノ会の上江 英保子さん こんにちは

ログアウト

ケアレポート

- マイページ
- 参加コミュニティ一覧
- 平 照三さんの部屋
- 洗髪について

利用者部屋へ

平 照三さんの部屋



作成者

よしの訪問看護ステーション
横尾 智子

この部屋の管理者

ナカノ訪問看護ステーション
佐藤 圭斗

参加者

ナカノ在宅医療クリニック

- 中野 一司
- 中野 律子
- 矢野 成昭
- 有馬 香代
- 上江 英保子
- 神崎 正美
- 生野 博久
- 竹内 ゆみ子
- 西田 幸伸
- 的場 康徳
- 徳永 亜由実

よしの訪問看護ステーション

横尾 智子

ナカノ訪問看護ステーション

- 有村 智子
- 石坂 由里
- 片平 智子
- 上村 真一
- 倉永 志保子
- 小荒田 勇
- 木場 真季
- 佐藤 圭斗
- 泊 奈津美
- 永原 真一
- 長嶺 美由紀
- 野口 ゆかり
- 福元 ゆかり
- 松下 えりか
- 松下 香織

ケアレポート

洗髪について

投稿日時: 2013/02/06 17:20
横尾 智子 | よしの訪問看護ステーション

本日もお湯のみで洗いました。しかし軟膏のあとと油ぎった感じが残り、さっぱり感がありません。奥様も油ぎっていることを気にされ、Baby石けんを購入して「使ってみてはどうだろうか?」と、話していました。お湯のみ対応で評価してからの指示になると思いますが、奥様の意向を聞いてみてください。

室屋

返信も一発

新規コメントの作成

表示分類:

全てを表示

重要度

全てを表示

対象者

全てを表示

並び替え

投稿: No. 1 分類: 介護記録 投稿日時: 2013/02/07 17:38
上村 真一 | ナカノ訪問看護ステーション 即時通知

無題

重要度: ☆☆☆

宛先: 参加者全員

本日の訪問では出血持続、かさぶたが少しのこっている状態です

皮膚状態と洗髪時の状況など観察し、奥様に確認しながら指示確認していきます

ありがとうございます

ナカノ 上村

返信も一発

投稿: No. 2 分類: 介護記録 投稿日時: 2013/02/08 17:14
福元 ゆかり | ナカノ訪問看護ステーション 即時通知

無題

重要度: ☆☆☆

宛先: 参加者全員

右後頭部発疹出血あり。シャンプーを中止して改善傾向ですが、ベトベトが気になるとのこと。洗髪はシャンプーを別ボトルにうって3~4倍に薄め、泡は30秒ほどつけてよく洗い流してください。ダラシント使用継続。来週律子Dで診療で評価します。よろしくお願いたします。

返信も一発

投稿: No. 3 分類: 介護記録 投稿日時: 2013/02/09 08:52
上村 真一 | ナカノ訪問看護ステーション 即時通知

無題

重要度: ☆☆☆

宛先: 参加者全員

洗髪についての確認

シャンプーを新規に購入する予定があるなら赤ちゃん用の泡シャンプー購入していただければ泡での洗浄ができるのではないのでしょうか?

洗剤の残るのがよくないとの意見でした

カナミックでは、システム研修会を毎月行っており

今回の研修会日時
2013年2月19日(水)

10:00~11:30

CIC
実績入力から
自保連携まで

3:30~15:00

CIC
利用者登録・原案
提供票の作成

16:00~17:30

CIC
計画書等の
構築作成

場所

カナミックネットワーク
東京本社 研修室

参加費 各研修会ごと
1,000円/人

詳しくは研修レポート内で
お問合せください。

03-5790-9953

在宅ケアを受けたいけど、
だれに相談したらいいのかしら？

と思ったら
身近な窓口へ連絡してみましよう。

在宅医療の総合相談窓口

▶ つくば在宅医療連携拠点事務局
(筑波メディカルセンター病院西館内)

連絡先 ☎ **029-851-3511**
(月～金 9:30～16:00 祝日休み)

高齢者の相談窓口

▶ つくば市地域包括支援センター

連絡先 ☎ **029-883-1134**
(8:30～17:15 休日・夜間は新つくばホームに転送)

平成24年度 厚生労働省在宅医療連携拠点事業
つくば在宅医療連携拠点事務局
〒305-005 つくば市天久保1-1-1

わが家がいちばん

～すみなれた家で自分らしく過ごすために～



つくば在宅医療連携拠点

在宅医療に関する相談を承ります

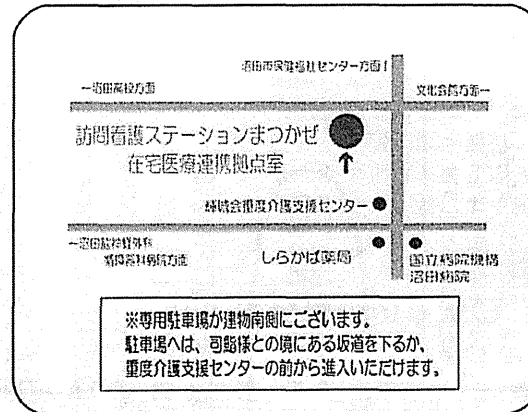
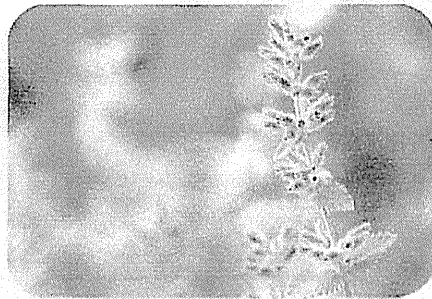
たとえば・・・

- 糖尿病と言われました。
食事はどのようなものを食べれば
いいですか。
- 受診が大変になりました。何か方法は
ありますか。



在宅療養に関する事など

お気軽にご相談ください。



訪問看護ステーションまつかぜ 在宅医療連携拠点室

この事業は、在宅医療機関等の連携拠点として地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、社会福祉士、介護支援専門員、介護サービス事業所等の多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指します。



社会医療法人輝城会
訪問看護ステーションまつかぜ 在宅医療連携拠点室

社会医療法人輝城会
訪問看護ステーションまつかぜ 在宅医療連携拠点室

社会医療法人輝城会
訪問看護ステーションまつかぜ 在宅医療連携拠点室

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1549-1

電話 : 0278(25)4411
FAX : 0278(25)4412
電子メール: zaitaku@kijoukai-gr.jp

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1549-1

電話 : 0278(25)4411
FAX : 0278(25)4412
電子メール: zaitaku@kijoukai-gr.jp

〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1549-1

電話 : 0278(25)4411
FAX : 0278(25)4412
電子メール: zaitaku@kijoukai-gr.jp

暮らしの保健室

バス

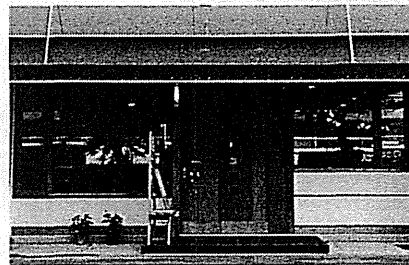
- 新宿駅西口方面から
宿74系統 東京女子医大前行き
- 大久保駅・新大久保駅方面から
飯62系統 都営飯田橋駅前行き
橋63系統 新橋駅前行き
都営戸山ハイツ前下車

電車

- 都営大江戸線・副都心線
東新宿駅より徒歩5分
- JR新大久保駅より徒歩10分

住みなれたまちで
すこやかに
暮らしつづける
あなたを応援する

暮らしの保健室



暮らしの保健室

〒162-0052 東京都新宿区戸山 2-33
戸山ハイツ 33号棟 125 (1階 商店街)
TEL / 03-3205-3114 FAX / 03-3205-3115
E-mail : hokenshitu@kjc.biglobe.ne.jp

月～金 9時～5時
土日祝日はイベント時のみオープン
平成24年度は毎月第4土曜日ががん療養相談 10時～2時
運営 / (株)ケアーズ 白十字訪問看護ステーション



在宅支援パンフレット

~いつまでも健やかにここで暮らしたい~



在宅医療連携拠点事業所
済生会松山訪問看護ステーション

主催 株式会社在宅ケアセンターひなたぼっこ
平成24年度 在宅医療連携拠点事業(厚生労働省医政局モデル事業)



楽しい老後を 過ごすために

参加費
無料

～ 健康に老いるための学び～

日時 平成25年 **1月13日** (日) 13:00～15:35 (12:00開場) 場所 ひめぎんホール サブホール
松山市道後町2丁目5番1号 TEL 089-923-5111

特別講演会

「元気で長生き するための秘訣」

愛媛大学大学院医学系研究科 加齢制御内科学
教授 三木 哲郎先生

講演会

「体に良い健康づくり体操」

松本陽子健康体操研究所 所長 松本 陽子先生

「シルバー世代の栄養について」

愛媛県栄養士会 理事 管理栄養士 白方 幸恵先生

「シニア世代の低栄養について」 「冬場の脱水について」

お申込み方法 お申込み締切日/平成25年1月7日(月) 必着

- 《チラシがある方》チラシのお申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはハガキでお申し込み下さい。
- 《チラシがない方》下記の必要事項をご記入の上、右記にお申し込み下さい。
 - ① 代表申込者氏名
 - ② 代表者電話番号
 - ③ お申込み人数と年齢
 - ⑤ 興味を持たれた内容
(特別講演・健康体操・栄養について・脱水について・その他())

お申込み・お問い合わせ先

〒791-0243 松山市平井町甲 3250-5
株式会社 在宅ケアセンターひなたぼっこ
在宅医療連携拠点事業 宛
FAX 番号：089-955-7881
お問い合わせ先 電話番号：089-970-6330 (月～土曜日 9:00～13:00まで)

認知症は脳の病気です。

こんなことがあったら連絡ください

家族が見つけた「認知症」早期発見のサイン

日常の暮らしの中で認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめました。医学的な診断標準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることがよいでしょう。

■もの忘れがひどい

- 1 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- 2 同じことを何度も言う・問う・する
- 3 しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- 4 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う



本人・周囲が「あれ？」と
気づくポイントを示し早
期発見を促す

■判断力・理解力が衰える

- 5 料理・片づけ・計算・運転などのミスが多くなった
- 6 新しいことが覚えられない
- 7 話のつじつまが合わない
- 8 テレビ番組の内容が理解できなくなった

■時間・場所がわからない

- 9 約束の日時や場所を間違えるようになった
- 10 慣れた道でも迷うことがある

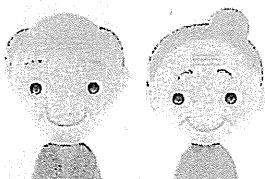
■人柄が変わる

- 11 些細なことで怒りっぽくなった
- 12 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- 13 自分の失敗を人のせいにする
- 14 「この頃様子がおかしい」と周囲から言われた



■不安感が強い

- 15 ひとりになるとこわがったり寂しがったりする
- 16 外出時、持ち物を何度も確かめる
- 17 「頭が衰になった」と本人が訴える



■意欲がなくなる

- 18 下着を替えず、身だしなみをかまわなくなった
- 19 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- 20 ふさぎ込んで何をするのも億劫がり、いやがる



※ 参考文献：公益社団法人認知症の人と家族の会

ほたる

私たちは、
地域の皆様と、
医療・福祉・介護を繋ぎます。

在宅医療・
介護に
ついて

何でも相談伺います

☎29-3021

住み慣れた
家庭や地域で
安心して療養生活を
送りたい。

自宅にしながら
受けられる
サービスって
どんなものがあるの？

日頃から身体的に
不安なことがあるけれど…
どこに相談すれば
いいのか分からない。

病院を退院した後の
かかりつけ医がない！

在宅医療って、
どのような人が対象なの？
夜間も対応してくれる？

家族を自宅に
退院させたいけど、手続きは？
何を準備したらいいの？

飲み込みやすい食事の作り方や、
退院後の栄養管理のこと、
薬のことって誰に聞けばいいの？

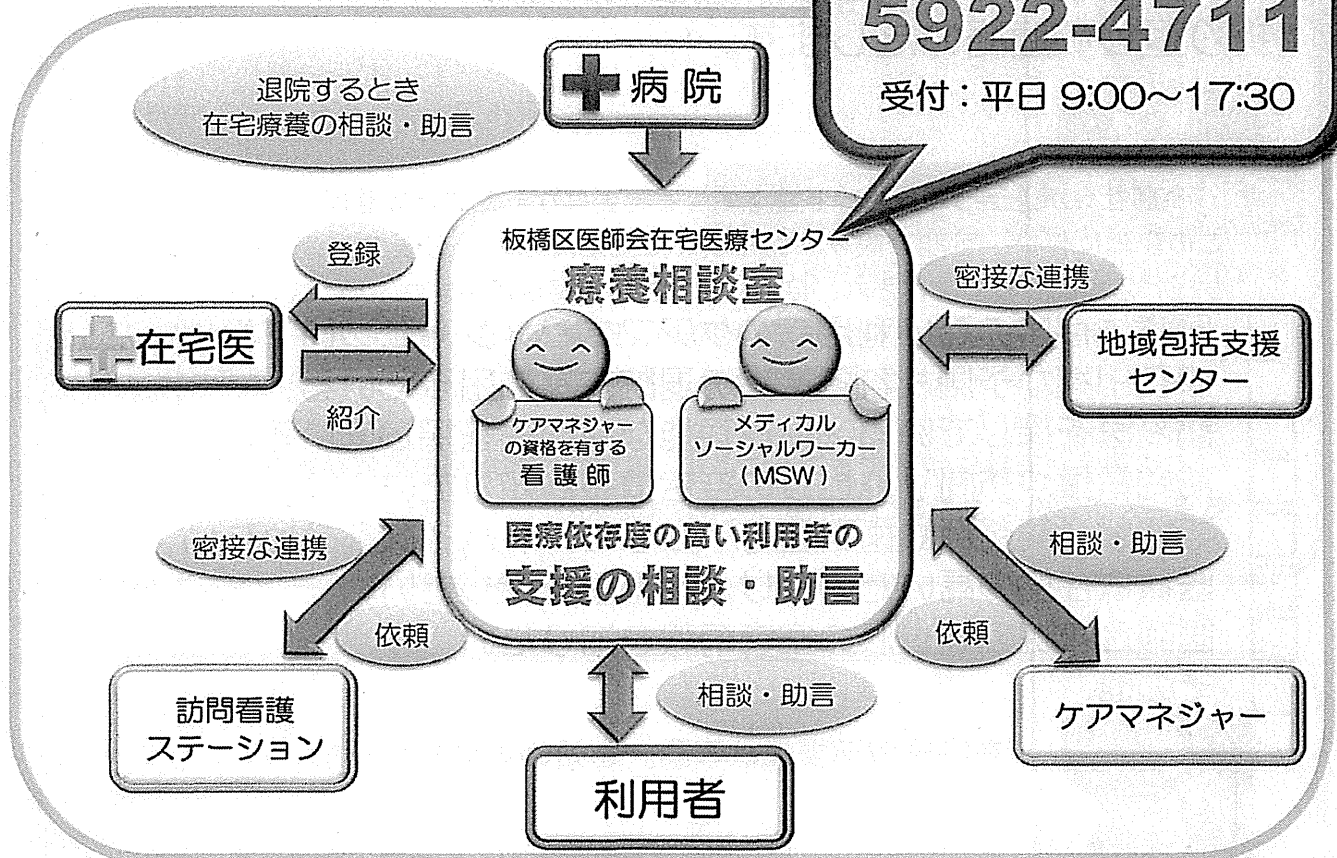
一人暮らしで自宅療養中、
生活の手伝いをしてほしい、
近くに遇える施設はない？

ほたるは、在宅訪問歯科診療に関する相談窓口としても機能しています。
在宅療養中の患者さんやご家族のみなさんの、歯に関する心配事や困りごとを伺い、
必要なときには歯医者さんにお繋ぎいたします。お気軽にご相談ください。

療養相談室

在宅医療連携拠点事業で設置された療養相談室は、在宅医療を提供する機関等の連携、多職種協働による在宅医療の支援体制を構築し、医療と介護が連携した地域における包括的かつ継続的な在宅医療の提供を目指します。

ご相談
お待ちしております
TEL03-5922-4711
受付：平日 9:00～17:30



こんな時にご相談ください

- 医療依存度の高い利用者のケアマネジメントについて相談したい。
- 療養困難が予測される患者の退院支援に困っている。
- 訪問医を探している。往診可能な専門医を探している。
- 訪問看護や訪問リハビリの空き情報が知りたい。
- 専門職（薬剤師や歯科医等）からのアドバイスを求めたい。
- 医療依存度の高い方の受け入れ施設を探したい。
- 医師会病院のベッドの空き情報を知りたい。

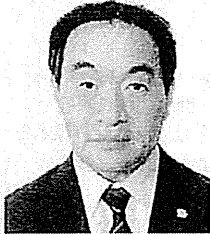
災害時の対応として、医療的支援の必要な方等の登録を呼びかけています

板橋区医師会在宅医療センター療養相談室 • TEL 03-5922-4711 FAX 03-5921-0480
住所 〒175-0082 板橋区高島平1丁目34-4 マンション初穂1階 •板橋区医師会在宅医療センター内 •



2012年9月12日発行
 発行人：千場 純
 発行：横須賀市医師会
 在宅医療連携拠点「かもめ広場」
 〒238-0015
 神奈川県横須賀市田戸台 36-1
 ☎ 046-824-6430

かもめ広場だより VOL.1



「在宅医療連携拠点事業」を始めます！

横須賀市医師会 会長 遠藤 千洋

高齢社会が進展して誰もが長生きできる社会になったことは喜ばしいことです。この変化に伴い、可能な限り、住み慣れた生活の場で、必要な医療や福祉介護サービスが安心して受けられ、自分らしい生活の実現が望まれています。

横須賀市医師会では、横須賀三浦地域の、医療・介護・福祉の連携をより確かなものにして、より良い包括地域ケアを実現するために「在宅医療連携拠点事業」を始めることにいたしました。

この事業が有効に作用することにより、横須賀三浦地域の医療福祉を必要とする皆さんのお役に立てることを願ってやみません。



「在宅医療連携拠点事業」を始めるにあたって

在宅医療連携拠点かもめ広場 運営会議委員長
 (横須賀市医師会副会長) 千場 純

この事業は、海に面した横須賀にふさわしいイメージのかもめを冠して「かもめ広場」を愛称に運営することにしました。地域の皆さん、医療・介護従事者の期待に添える運営をし、病気や障害を持った方が希望する場所で希望する療養ができるよう頑張っていく所存です。今後は横須賀市(地域医療推進課)及び、開設している「チーム衣笠」としっかり連携していきます。

- ◇ 連携に伴う課題を解決するよう関係多職種で考えます。
- ◇ 24時間対応している在宅医療従事者の負担軽減を図ります。
- ◇ 関係職種が連携するためのしくみづくりをします。
- ◇ 地域住民に在宅医療について紹介します。
- ◇ 在宅チーム医療についての研修をします。

伊賀薬剤師会による医療材料等供給支援事業について

【事業内容・目的】

通常、箱単位での販売となっている医療材料等の商品を小分けで販売し、在宅医療に関連して使用する医療材料等の経済的な負担を軽減することを目的としています。

【方法】

地域(名張市、伊賀市)で使用する医療材料等の内、特に必要性が高い商品(注文表参照)を伊賀薬剤師会で備蓄・管理し、一部の薬局(協力薬局一覧参照)で販売を実施致します。

注文には注文書(表紙)と注文表の2枚が必要になります。実際の注文方法等については「医療材料の注文について」をご参照ください。

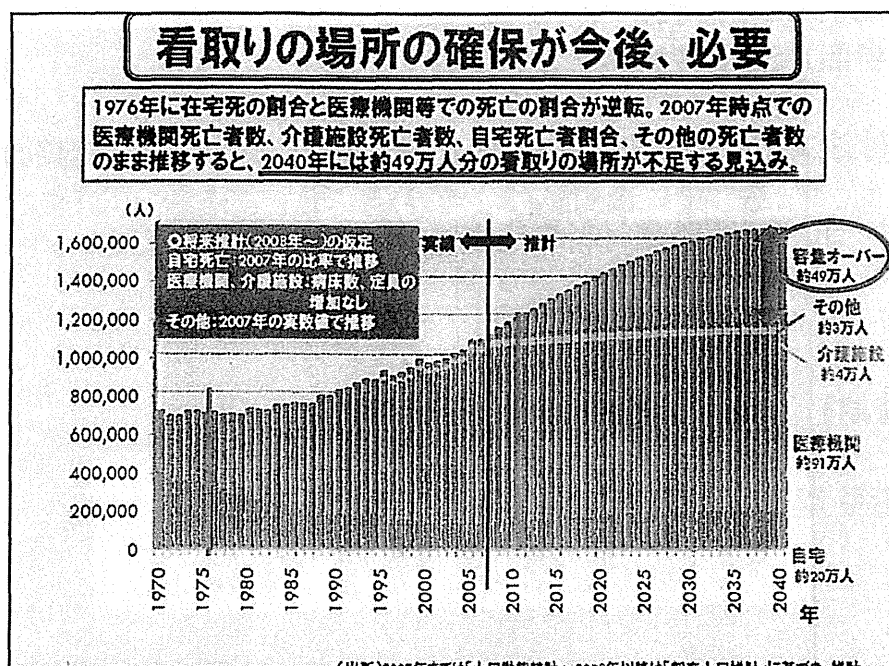
【開始時期】

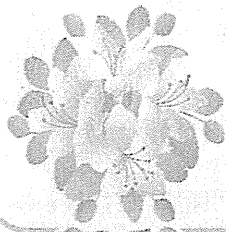
平成24年12月より開始します。

2013.1.25

医師会 在宅医療連携室

何をしてるの？
何をしてくれるの？





広報誌 あざれあ

～組織や職種を超えた地域のネットワークーを目指します！～

社団法人 東広島地区医師会 地域連携室

地域医療連携支援システムEIR説明会を開催しました



開催日時：平成24年9月18日(月)19:00～21:00

開催会場：東広島地区医師会3階大会議室

参加者：医師・歯科医師・薬剤師・ケアマネジャー・看護師・MSW
介護職員・理学療法士・福祉用具販売貸与事業者・事務
職員を対象として、計100名の方にご参加いただきました。

東広島地区医師会担当理事の藤原雅親先生より開催のご挨拶からはじまり、つづいて株式会社エイルより「地域医療連携支援システムEIR」の概要と操作説明をしていただきました。

はじめにEIR(エイル)とは、どのようなものかについて、パンフレットより

一部抜粋して簡単にご説明しますと、「エイルとは、在宅医療・居宅介護などの専門ネットワークとして、機密性を維持しながら多職種・多事業所にわたる従事者間で患者情報を安全に共有するためのアプリケーションです。患者さまを中心として関わる多職種連携のための地域連携電子ノートというイメージ」ということです。

エイルに施設登録済みの医師より、在宅医療を必要とされる患者さまへエイルへの参加協力を説明していただき、承諾を得られた患者さまの基本情報をあざれあが登録します。機能の一部を紹介しますと、訪問記録、薬剤項目の登録・確認、訪問先で撮影した褥瘡などの写真を登録することができ(患者さまの同意が必要)、院内の医師がリアルタイムに画像を確認することもできます。

患者さまが安心して在宅医療を受けるためには、患者さまに関わる施設・事業所の皆さまのご協力が不可欠です。

施設登録は無料となっておりますので、EIRに興味を持たれた施設・事業所がございましたら、「あざれあ」までお問い合わせください。

第1回在宅ミニ講座を開催しました

開催日時：平成24年10月5日(金)13:30～14:30

開催会場：東広島記念病院3階通所リハビリ室

参加者：ご利用者様・ご家族様・地域にお住まいの方

テーマ：「もっと知りたい在宅療養～教えて、

ケアマネジャーさん！教えて看護師さん！～」

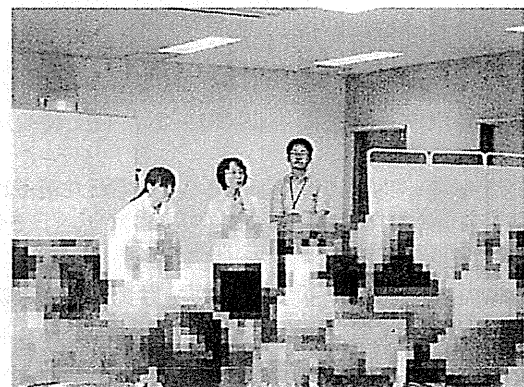
講師：東広島地区医師会 居宅介護事業所 秀島所長

賀茂台地訪問看護ステーション 渡邊所長

「地域連携室あざれあ」の紹介からはじまり、秀島所長よりケアマネジャーの視点からの在宅療養について説明をしていただきました。お話の中で、ご利用者さまに、自分が「いつ」「どこで」「誰のそばで」亡くなりたいかを質問されると、多くのご利用者さまが、「精一杯生きて」「自宅で」「家族のそばで」亡くなりたいと、おっしゃられていたのが印象的でした。

続いて、渡邊所長より訪問看護師が訪問時に持参しているものを実際に見ていただくなど、訪問看護について説明していただきました。アンケートの自由記載では要望として、ベッドやその他の器具の実演ビデオで紹介して欲しいとの意見があり、みなさんが在宅で使用する用具に、大変関心をお持ちなのだと感じました。

最後にになりましたが、ご協力いただきました東広島記念病院通所リハビリのスタッフと、ご利用者様、ご参加くださった皆さまに心より感謝申し上げます。



「生活の質」を重視する医療が求められています。

高齢者の増加や価値観の多様化にともない、病気をもちつつも自分らしく暮らす



宗像医師会会長
上田 寛

宗像医師会は、平成24年5月に厚生労働省より採択を受け、在宅医療連携拠点事業を実施することとなりました。6月より宗像医師会病院内に在宅医療連携拠点事業室「むーみんネット」を設置し、活動を開始しております。

在宅医療においては、医療、介護、福祉、地域コミュニティなどによる包括的な支援が継続的に提供されることが必要であり、そのためには地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、介護サービス事業所、地域包括支援センター等の多職種協働が不可欠です。

在宅医療連携拠点事業室「むーみんネット」は、地域の在宅医療に関わる多職種連携の「コーディネート役」として、今後の在宅医療に関する政策立案や関係機関の連携強化を図り、住民のみなさんが住み慣れた場所で、その人らしく生活出来るように支援していきたいと存じます。「むーみんネット」へのご理解、ご支援、ご活用をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先

在宅医療連携拠点事業室
むーみんネット Mumin-net

TEL.0940-37-5020

事業日時/月～金曜日(土・日・祝日休み) 8:30～17:15

〒811-3431 宗像市田熊5丁目5-3
宗像医師会病院内1F(地域医療連携課 横)
FAX.0940-37-5021

U R L ● <http://www.mumin-net.jp/>

E-mail ● mumin-net@munakata-med-hp.gr.jp

担当

私たちが担当させていただきます。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。



今古賀
介護支援専門員
兼 看護師

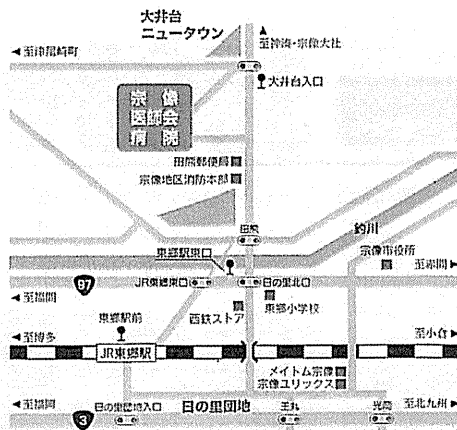


久米
医療ソーシャルワーカー
(社会福祉士)



富永
事務員

病院位置図



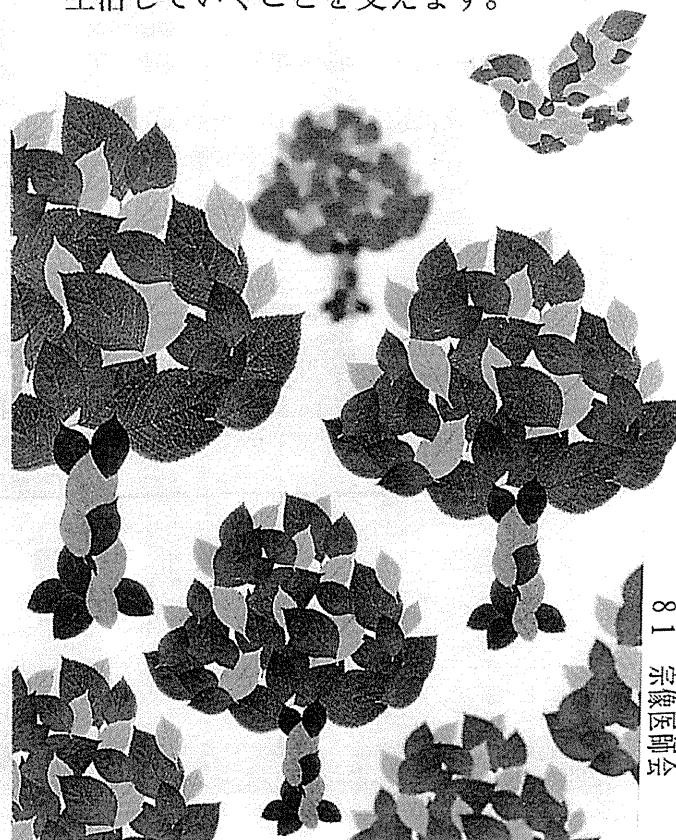
宗像医師会

在宅医療連携拠点事業室

むーみん
ネット Mumin-net

開設の
ご案内

住み慣れた場所で自分らしく
生活していくことを支えます。



在宅医療の現状と課題

佐世保市民生委員児童委員協議会連合会研修会

2013年2月14日(木)

佐世保市医師会 副会長 土井 庸正